$rac{2}{2} rac{ extbf{Box Distribution}}{6/30} rac{1}{8/2} rac{1}{8/2}$

コレクション展示

Collection Exhibition 漁師たちの技 らいぞ

Cormorant Fishing in Contemporary China: Techniques of Fishers



生どな のぜ カワウと生きる漁師たちの技から考える にウ 餇 た慣 か かか

ねらい

鵜飼はカワウやウミウを利用して魚をとる漁法です。現在、中国と日本でみることができます。中国の鵜飼は2000年以上の歴史があるとされ、生業として続いています。本展示は、中国各地で撮影した鵜飼にかかわる写真と動画を中心に、本館が所蔵する鵜飼い船もあわせて公開することで、カワウと生きる漁師たちの技を紹介するものです。

本展示では、写真や動画のなかで中国の鵜飼を特徴づけるものを選びました。中国における鵜飼の特徴とは、地域による技術の多様さとカワウの人工繁殖、生業としての漁法です。このような特徴を踏まえ、写真や動画、標本資料を「中国各地でみられる鵜飼」、「持ち運びが便利な双胴船」、「カワウを繁殖させる技術」、「カワウを利用した漁の技術」という4つのテーマに分けて公開しています。

とくに、中国では各地の漁師たちがカワウを自宅で繁殖させ、 ヒナを育てて利用しています。こうしたカワウの人工繁殖は、世界 中をみても中国の鵜飼でしかおこなわれていません。本展示を通し て、鵜飼の技術や知識、鵜と人間とのかかわりを理解していただ ければ幸いです。

> 卯田 宗平 国立民族学博物館 准教授







1

中国各地でみられる鵜飼

国土面積が日本の25倍以上もある中国では、ひとことで鵜飼といっても地域によってその技術に大きな違いがみられます。

中国の鵜飼を広くみると、湖沼などの止水環境では刺し網を使わず、カワウに自由に魚をとらせる漁法がおこなわれています。一方、河川などの流水環境では小回りがきく小さな船を利用し、カワウを使って魚を刺し網に追い込む漁法が多いです。漁場の環境によって、漁具や漁法、船の形状、使用するカワウの数などが大きく異なります。このコーナーでは、中国各地でみられる鵜飼技術の多様さを紹介します。



双胴船に乗り、竹棒を使って前進する漁師たち(湖北省荊州市)



船にカワウを乗せて漁場に向かう漁師たち(山東省微山湖)

2 | 持ち運びが便利な双胴船

双胴船とは2つの船を少し離して並べ、その間を竹棒や木材で固定したものです。湖北省や安徽省の一部の地域でみることができます。

この船を利用するのは、持ち運びが便利だからです。湖 北省などの漁場は、複数の河川が並行して流れており、お 互いが水路などで通じていません。そのため、漁場となる 河川を変えるときは、陸上を移動する必要があります。漁 師たちは自転車やバイクに双胴船とカワウを乗せ、次の漁 場に向かいます。このコーナーでは、中国でもめずらしい 双胴船を利用した鵜飼い漁を紹介します。

3 | カワウを繁殖させる技術

中国の鵜飼では、漁師たちが繁殖させたカワウを利用します。 彼らはカワウを完全に家畜化しており、野生のカワウを捕獲して利 用することはありません。

各地の漁師たちは、カワウが繁殖期を迎えると体格のよい雌雄を選びだして交配させます。産み落とされた卵を取りだしてメスのニワトリに抱かせ、孵化したヒナを育てます。そののち、若鳥に対して漁に向けたトレーニングを重ねます。彼らはカワウの生態を深く観察しており、毎年春先になるとヒナを確実に育てあげます。このコーナーでは、世界中でも中国の鵜飼でしかみられないカワウの繁殖技術について紹介します。



給餌のとき、目が開いたヒナに人間を確実に見させる(江蘇省興化市)



4 │ カワウを利用した漁の技術

中国では鵜飼い漁でくらしを立てる人たちがいます。魚食性の鳥類を利用する鵜飼い漁は、漁獲の効率がよく、一回の操業で多くの魚をとることができるからです。

鵜飼い漁師たちは早朝に出港し、昼間に漁をします。そして、とれた魚を選別し、地元の市場で住民たちに販売しています。住民たちはその日にとれた新鮮な魚を漁師から購入し、自宅に持ち帰って調理して食べます。鵜飼い漁が生業として続けられるのは、いまでも淡水魚を食べる習慣が各地に残っているからです。このコーナーでは、鵜飼い漁でみられる一連の漁撈活動について紹介します。

出品リスト

1. 国立民族学博物館所蔵の標本資料

標本名	資料番号	
双胴船	H0191102	幅127cm×奥行191cm×高さ44cm、湖北省当陽県、1993年収集
櫂	H0191103	幅5.9cm×厚み3cm×長さ172cm、湖北省当陽県、1993年収集
竿	H0191104	幅3.5cm×厚み3.5cm×長さ345cm、湖北省当陽県、1993年収集
 たも網	H0191105	幅41cm×深さ43cm×長さ82cm、湖北省当陽県、1993年収集
魚籠	H0191106	幅34cm×奥行18cm×高さ30cm、湖北省当陽県、1993年収集

2. 写真(撮影は卯田宗平)

Ⅰ 中国各地でみられる鵜飼

I - 1 山東省微山湖(2006年9月)
I -2 江蘇省塩城市(2007年10月)
I-3 浙江省台州市(2007年12月)
I - 4 江西省南昌市(2006年10月)
I - 5 福建省南平市(2008年5月)
I - 6 広東省清遠市(2008年2月)
I - 7 重慶市潼南区(2007年5月)
I - 8 湖南省常徳市(2008年7月)

Ⅱ 持ち運びが便利な双胴船

11 19 0年 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1
Ⅱ-1 自宅から出発する(2008年1月)
Ⅱ-2 漁場まで移動する(2008年1月)
Ⅲ-3 河川のふちまで運ぶ(2009年12月)
II - 6 魚を網に追い込む(2009年12月)
II - 7 次の漁場に向かう(2008年1月)

Ⅰ-10 広西チワン族目治区桂林市(2008年2月)

Ⅲ カワウを繁殖させる技術

Ⅲ-9 追随性の獲得(2006年7月)

Ⅲ-1 巣造り(2008年4月)
Ⅲ-2 採卵(2008年4月)
Ⅲ-3 抱卵(2012年5月)
Ⅲ-4 孵化後の給餌(2012年4月)
Ⅲ-5刷り込み(2007年4月)
Ⅲ-6 幼鳥の飼育(2007年4月)
Ⅲ-7漁の見学(2006年8月)
-8 若鳥のトレーニング(2008年7月)

Ⅳ カワウを利用した海の技術

IV カラクを利用した黒の技術
IV-1 出漁(2006年5月)
IV-2 漁の開始(2006年6月)
IV-3 操業(2006年8月)
IV-4 捕食(2008年7月)
Ⅳ-5 休憩(2006年5月)
 IV-6 漁獲物の選別(2008年7月)
IV-7 エサやり(2006年8月)
IV-8 鵜の回収(2008年7月)
Ⅳ-9 漁獲物の販売(2006年7月)
IV-10 収入の分配(2006年7月)

3. 映像

「持ち運びが便利な双胴船 ―湖北省荊州市」(10分3秒、撮影・編集:卯田宗平) 「カワウを繁殖させる技術 ―江蘇省興化市」(10分2秒、撮影・編集:卯田宗平)

「カワウを利用した漁の技術 一江西省鄱陽湖」(10分9秒、撮影・編集:卯田宗平)

関連する図書

『鵜と人間―日本と中国、北マケドニアの鵜飼をめぐる鳥類民俗学』(卯田宗平著、東京大学出版会、2021年) 『野生性と人類の論理―ポスト・ドメスティケーションを捉える4つの思考』(卯田宗平編、東京大学出版会、2021年) 『鵜飼いと現代中国―人と動物、国家のエスノグラフィー』(卯田宗平著、東京大学出版会、2014年)

カ

亀田佳代子 (滋賀県立琵琶湖博物館副館長) 岐阜市長良川鵜飼伝承館 (長良川うかいミュージアム)、公益財団法人千里文化財団

催 国立民族学博物館



国立民族学博物館 National Museum of Ethnology

ご来館のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、会期・イベント等を変更・中止する場合があります。

●開館時間・・・・・・・ 10:00 ~ 17:00(入館は 16:30 まで)

●休館日・・・・・・・・水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)

交通のご案内

●大阪モノレール…「万博記念公園駅」、「公園東□駅」下車徒歩約15分

●バス………… 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分

●乗用車・・・・・・・ 万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分 ※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。

同園内を無料で通行できます。 ※高校生以下の方、「国立民族学博物館友の会」会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、 みんぱくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。

※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

■観覧料 ·········· 一般 580 円/大学生 250 円/高校生以下 無料 ※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

T565-8511

大阪府吹田市千里万博公園 10番1号 Tel: 06-6876-2151(代) Fax: 06-6875-0401 https://www.minpaku.ac.jp/



